

## 恐山の女 (1965)

メディア 映画

ジャンル ロマン ス ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 98分

初公開日 1965/10/30

公開情報 松竹

### 【解説】

小説現代に掲載された小川元の『霊場の女』を、堀江英雄が脚色し五所平之助が監督。不幸な運命に翻弄される一人の女性の悲劇を描く。

貧しい漁村に生まれたアヤ子は、父が病に倒れ兄が亡くなったため、七福という名の遊郭で働くことになった。アヤ子はすぐに材木屋の山村勘助に水揚げされるが、数日後にやってきた童貞の戸田勘二郎に心惹かれる。しかし勘二郎は、他家に養子に出されていた勘助の次男だった。勘二郎が出征している間にアヤ子のもとを訪れた勘助は腹上死、そして勘二郎は戦地で上官を殺害し自殺してしまう。二人の墓参りをしたアヤ子は、勘助の長男である勘一と出会った。世間ではアヤ子を「男殺しの女」と噂しており、勘一はその噂の反発しアヤ子と付き合うことにする。

### 【クレジット】

監督 五所平之助

製作 島津清

原作 小川元

脚本 堀江英雄

撮影 篠村荘三郎

美術 平川透徹

音楽 池野成

出演 吉村実子

川崎敬三

殿山泰司

寺田農

東野英治郎

富永美沙子

菅井きん